

「福島を伝え、再生可能エネルギーを学ぶ」

福島ドイツ高校生交流プロジェクトの活動報告会を  
山梨で開催します。



福島の高校生が語る。



東日本大震災とドイツで学んだ、



「再生可能エネルギー」。



〈チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業〉

2019.11.30 (土)

14:00 - 16:00 13:30 開場

場所 ▶ 青少年育成プラザMiacis (ニコリ地下1階)

大学生以下

参加無料

一般 500円 (資料代)

詳細・申し込みは裏面へ▷

主催：NPO 法人アースウォーカーズ  
協力：みんなのおうち公園・青少年育成プラザ Miacis

# 2019.11.30 (土)

## 14:00 - 16:00 13:30 開場

場所 ▶ 青少年育成プラザMiacis (ニコリ地下1階)

※ 葦崎駅から徒歩1分。4時間無料の駐車場あり。

大学生以下

# 参加無料

一般500円 (資料代)

交流会にて参加者全員に軽食がつけます

### 14:00 -

#### 福島の高校生による報告会

訪独した高校生たちと、NPO法人アースウォーカーズ代表の小玉直也さんらによる活動報告プレゼンテーション。福島の実情や、現地で学んできたドイツの再生可能エネルギーについて話します。

### 15:30 -

#### 交流会 & 意見交換会

参加者のみなさんと高校生らとともにテーブルを囲んでご飯を食べながら、活動や高校生への質問等、相互に交流ができたかと考えています。(武川町のよんばち米のおにぎりとお汁つき)

#### 申し込み方法

右のQRコードから申し込みいただくか、TEL 0551-45-9919 (Miacis) にお電話ください。※受付時間 15:00-21:30



### 福島の実情とドイツで学んだ、彼らの生の声を、ぜひお聞きください。

『前の自分だったら自分から手を挙げて話すなんて絶対しなかったのに、それができたので自分でも驚きました。たくさんの方に支えられていると改めて思ったので残り少なくなってきたドイツでの生活をさらに大事にして有意義な時間を過ごせるように頑張りたいです。』

『いろんな辛かったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、全部、全部』

最初からのことを思い出した。時間が止まれば良いのにと、とても思った。

アンドレアス、いつえさん、デニツの3人との別れはとても辛かった。たくさん泣いたが、たくさん笑えもした。

明日のフライトのために早めに寝なければならないが、なぜか余韻が残ってしまって寝ることができない。本当にたくさんの人と出会って、関わることで良かった。It is special time.』

『市役所ではスピーチをした。』

私は日本語でスピーチをしたが泣かないように頑張った。いつもは、日本語でも英語どちらでも、「ぐっ」となにかが込み上げてきて泣いて辛くなるが、少しずつスピーチするのが楽になってきた。菜穂子さんのお話にもあった「ブレイクスルー」を自分でも少しずつ感じはじめた。少しずつ震災の体験が自分の中で「過去」になりはじめていた瞬間だった。』

#### プロジェクト参加高校生たちの実際の声。

(アースウォーカーズ HP ブログより抜粋)

『放射線のお話を聞いて自分の意見を言えること、こんなにも清々しいものかと分かった。』

『日本とドイツの環境・エネルギーに関する政策は真逆だ。原発事故が起こったら、本当に正しいのはどちらか、しっかり考えて欲しい。』

『午後は Friday's for future のデモを見に行った。8才くらいの小さな子供が交通省の近くで、自分らの将来のためCO2削減を、屋外ステージの上でマイクを持って、声をあげていたのだ。』

『ソーラーパネルは建物の壁や屋根、カーポートなど、ありとあらゆる所についていたし、とても大きな風車がたくさん並んでいたり、日本ではなかなか見れないものを見させてもらいました。実際に目で見て体感することの大事さを実感しました。』

主催：NPO法人アースウォーカーズ

アースウォーカーズでは、福島の高校生をドイツに派遣する「福島を伝え、再生可能エネルギーを学ぶ」福島ドイツ高校生交流プロジェクトを開催しています。アースウォーカーズの詳しい概要や活動内容についてはこちらをご覧ください。



協力：

みんなのおうち公園

問い合わせ：

090-8301-1123 (小玉)

